

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年10月17日
【事業年度】	第33期（自平成22年6月1日至平成23年5月31日）
【会社名】	リベステ株式会社
【英訳名】	RIBERESUTE CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河合 純二
【本店の所在の場所】	埼玉県草加市金明町389番地1
【電話番号】	048（944）1849
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部門統括 樋口 文雄
【最寄りの連絡場所】	埼玉県草加市金明町389番地1
【電話番号】	048（944）1849
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部門統括 樋口 文雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月30日に提出した第33期（自平成22年6月1日至平成23年5月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
- 4 事業等のリスク

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

- 第一部【企業情報】
- 第2【事業の状況】
- 4【事業等のリスク】

（訂正前）

当社グループの経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成23年8月30日）現在において当社グループが判断したものであります。

<後略>

（訂正後）

当社グループの経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成23年8月30日）現在において当社グループが判断したものであります。

<中略>

(7) ホテル事業について

当社グループは平成16年6月より「裏磐梯猫魔ホテル」（平成23年5月期末時点の土地・建物簿価合計1,165百万円）を運営しておりますが、宿泊客数の低迷により営業損失の計上が続いております。現在、(株)星野リゾートとの業務提携によりコスト削減等に取り組み黒字化を目指しておりますが、運営効率化が想定通りに進まない場合、消費者の低価格志向等により客単価が低下した場合、自然災害やこれに伴う風評被害などの発生等により宿泊客数が減少した場合には、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

また、今後の固定資産の時価の動向、固定資産の利用状況及び当該ホテルから得られるキャッシュ・フローの状況等によっては、減損損失を計上する可能性があります。

(8) 在庫リスクについて

当社グループの保有在庫（平成23年5月期末時点の販売用不動産簿価2,598百万円）の中には、短期的な販売を目的としていない物件があり、これらは主に過去の仕入方針に基づいて仕入れたものの現時点までに販売が完了していない物件や、他社の不良資産処理として持ち込まれ市場価格より低価格で購入した物件等です。これらの在庫について、市況の悪化や顧客ニーズの変化等によっては、販売価格の低下、在庫の長期滞留化、在庫の評価損、資金負担が増加したりする可能性があります。その場合には当社グループの業績や財政状態に影響を与える可能性があります。